

さつぱがまを縫う

暮らしの野良着「さっぱがま」

会津に限らず東北地方全域で野良着として伝わってきた猿袴は、下級武士のたっつけが元となり野良着として定着したと言われています。股上は深く、腰回りにゆとりがある構造でしゃがんだり走ったりする動作が楽。膝下から足首にかけて細く絞られているため、足元がすつきりもたつかない。という特徴があります。

会津地方では、「さっぱがま」とよばれ、伝統の会津木綿で作られてきました。

今回製作するのは、脱ぎ履きしやすいゴム仕様。余裕があればポケットも付けられます。春からの準備を冬に。一緒にさっぱがまを作ってみませんか？

日時 3/14(土) 10:00~ 21(土) 13:00~ 連続講座
14:30~ 17:00

定員 | 10名 参加費 | 6,300円 (お茶付き)

講師 | 長谷川久美さん (種小屋) 場所 | 西会津国際芸術村

*原則、2日間の参加をお願いします。2日目のご都合が悪い方は、手引き書をもとに各自で作業していただく形になります。

*2回分の参加費となりますので、2回目来られない場合でも割引にはなりません。

内容 | 14日→生地の裁断~仮縫い

21日→縫製、仕上げ (ミシンをお持ちの方はご持参ください)

持ち物 | 裁縫道具一式

縫い針・糸(目印と手縫い部分で使用)・チャコペン・ものさし・裁ち鋏

糸切り鋏・まち針・1メートルものさし(あれば)ない場合はスケール

◎生地は各自持参ください。着尺半反(幅約37cm × 長さ 6m)

<縫い物の経験について>

今回の講座は、ミシンを使ったことがある方であれば問題なくお作りいただけることができる内容となっています。全くの初心者の方には難易度が高い可能性があります。

| 申し込み・お問い合わせ |



お電話またはQRから
お申し込みください

西会津国際芸術村
TEL: 0241-47-3200